

● 移住交流支援センターだより ●

NPO
グリーンバレーの
伊藤・中川が
お届けします。



お問い合わせ
☎676-1177
IP: 2028

空き家相談会を開催しました

8月14日(月)に空き家相談会を実施しました。今のところ家の維持管理はできているが、終活を考えるなかで、神山の家や土地をどうするか、前もって準備をはじめたいといったご相談がありました。将来空き家になった時の活用方法を、空き家になる前から一緒に考えはじめ、次の住まい手を見つけていく取組み「お家長生きプロジェクト」をご案内しました。センターでは空き家相談を随時受付しています。お気軽にご相談ください。

新規移住相談件数

6月…12件
7月…4件



- 空き家から出るモノを再利用 - [モノストック] オープンデー

9/24(日) 9時~12時
10/24(火) 9時~12時
神領青井夫・旧国道沿い



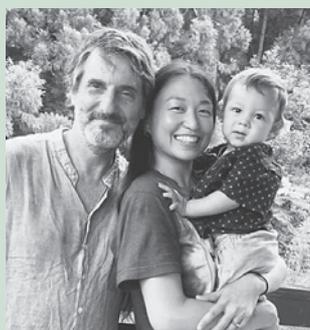
今月のインタビュー

東京から移住したジェローム & 美緒さんご家族を紹介します。ジェロームさんは料理人で、美緒さんは南上角で「森の学校みっけ」を運営しています。

〈移住のきっかけ〉

ジェローム) 神山に初めて来たのは、2015年に下分の宿泊施設のイベントで、料理を提供するためでした。当時はサンフランシスコに住んでいましたが、その後東京に移住してレストランを開業しました。いずれは田舎で暮らしたいと思っていて、友人や仕事仲間、有機農家さんたちがいる神山にパートナーと移住することにしました。

美緒) 今の家は、周辺に山や畑が



ジェローム・ワグ
フランス出身
松岡 美緒 東京出身
松岡 起音 神山生まれ
神領南上角在住

あって、川にも近く、立地や環境が気に入って引っ越しを決めました。傷んでしまっていた母屋は解体し、納屋を居室に改修して、引っ越しできるようにするまで、約2年かかりました。私は工事期間中から、友人の家に滞在したり、すみはじめ住宅「西分の家」に仮住まいして、先に神山に移住していました。神山で結婚して、去年長男を授かりました。

〈暮らしや仕事〉

ジェローム) 改修工事は町内の大工さんに依頼しましたが、壁に漆喰を塗ったり、床の仕上げは自分でしました。古民家らしさを残しつつ断熱工事もして、夏は涼しく、冬は暖かく、快適に住むことができています。今は東京のレストランの現場を若いシェフに任せていて、加工品づくりや新しい食の事業の立ち上げなど、神山に住みながらできる仕事を工夫しています。

美緒) 「森の学校みっけ」は去年の4月に開校しました。今年は15名の小学生が通っていて、町内だけでなく町外から通っている子ども

います。川遊びやものづくり、米や野菜づくり、火起こしや料理といった体験学習のなかに読み書き算数の要素を加えることで、教科横断的に、遊びから学びが成り立つと考えています。地域の方からは、苗を分けてもらったり、楽器を寄付してもらったり、たくさん協力してくれてとても感謝しています。

〈今後の抱負〉

ジェローム) 友人が泊まれる部屋が家にないので、古材を使って自分で小屋を建ててみたいと思っています。また里山と川、暮らしのつながりについて、もっと理解を深めたいです。「みっけ」の子どもたちと、家の裏山に、さくらんぼや栗、山桃、柑橘など、食べられる木々を植えて、森づくりを始めました。

美緒) もっと地域のいろんな人たちから神山の自然や暮らしについて教えてもらって、子どもたちと受け継いでいきたいです。地域の方との関わりが増えることで、子どもたちが地域に自分の居場所を見つけたら、社会に役立ちたいと思います。



子どもたちと森づくり